

国内学会発表報告@石垣島

文責：堀込瑛介

入局 3 年目の堀込瑛介です。第 26 回癌治療増感研究会（2023/6/30-7/1 開催）で発表してきましたので、ご報告いたします。

開催地は石垣島で、自身初の沖縄上陸は石垣島からとなりました。すでに沖縄は梅雨明けしており、滞在中は天候に恵まれました。会場はリゾートホテルで、アロハシャツを着た観光客で賑わい、私のフォーマルな服装が浮くくらいでした。

今回は、自身の研究テーマの一つである、選択的 FGFR1-4 阻害薬 LY2874455 の放射線増感について発表しました。すでに論文として公開していますが、このテーマを対面で発表し、レスポンスを直接受ける機会は初めてでしたので、聴衆がどこに注目するか興味がありました。質疑応答では、FGFR 経路の下流シグナル伝達を中心に様々な視点から 4 つほど質問を受けました。多くの質問が今回の研究で検証していない事象についてであったので、満足のいく返答ができませんでしたが、一方で、その指摘が今後検証すべきポイントであると気づくことができ、大変勉強になりました。やはり学会は現地開催がいいですね。

今回の発表演題には、KORTUC 関連の演題が多く、KORTUC の適応・長所・短所について勉強することができました。同時に、「KORTUC と比較した時の LY2874455 の特徴」という視点が生まれ、比較の中で LY2874455 の推すべき長所というのが見えてきました（例：投与経路…KORTUC すなわち過酸化水素は、その刺激性故に局所注射でしか投与できない。大きい腫瘍では、腫瘍全体に薬剤が行き渡らせるために局注の技術が求められる。一方で、LY2874455 はすでにヒトへの経口投与の安全性が確認されており、投与の簡易性においては LY2874455 の方が簡便と言える）。

懇親会にも参加し、他施設の先生方と交流を深めてきました。主に西日本の施設の先生と話しまして、聞く話題がどれも新鮮でした。自己紹介すると、多くの先生が当医局の新入局者リクルートを羨ましがっていました。西日本の有名な大学は皆大都市に位置し、新専門医制度のシーリング制度による専攻医の人員規制で、リクルートに苦戦しているとおっしゃっていました。例えばある県では、放射線科プログラムの専攻医のリクルートが、県全体で毎年 10 人まで（しかも診断・治療合わせて）だそうです。さらに、県内に複数の医学部・医局があるので、そこから県内の医局同士で取り合いになります。現状、我々にはこの規制と無縁であり、その状況に感謝しながら、今後も新入局員のリクルートのお役に立てればなと思いました。

まとめますと、自身の発表・他の発表から多くの学びを得て、コロナ明けで久しぶりに他施設の先生方と対面で交流を深めることができ、有意義な出張でした。

<学会会場>



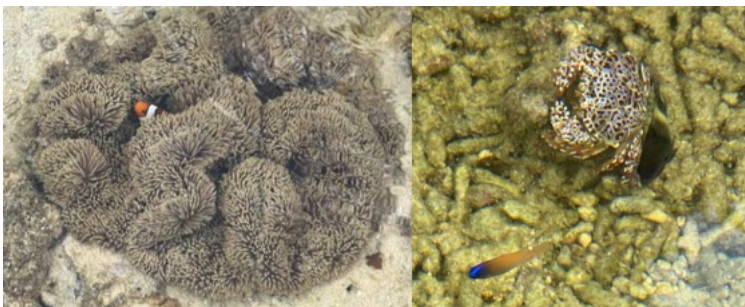
ANA インターコンチネンタルリゾート。客室からの景色は右の写真の通り（学会 HP より引用）。バチェラーで使われそうなホテルでした。私は別の宿で宿泊。

<グルメ>



沖縄の海産物は脂のりが少なく淡白なものが多かったです。妻は淡白な味が好きなので、沢山食べていました。脂っぼいのが苦手な方にもおすすめです。フルーツは言わずもがな美味しかったです。道路沿いに果樹園・直売所が沢山あり、学会→ホテルの帰りに寄り道して食べました。

<ホテル前のビーチ>



宿泊先の目の前がビーチになっていて、毎朝海岸沿いを散歩しました。水族館で見るカクレカマキリを間近で見ることができました。右の写真の毒々しい模様のカニは本当に毒あるそうです。

<セルフナイトサファリ>



学会が終了後の夜に、観光業者企画のナイトサファリに行こうとしたのですが、時間が会わず断念。代わりにホテル周辺を散歩すると、ホテル前のビーチの至る所に夜行性の生物がいました。左の写真のカニたちは一見サイズがわかりにくいですが、最近の世代の iPhone くらいの大きさでした。右の写真はオカヤドカリ。小学生時代飼っていたので、野生で見つけることができ興奮しました。

<思い出作り>



最終日、帰りの飛行機は余裕を持たせた時間で予約したので、何か思い出作りでもと考えて、琉球ガラスの吹きガラス体験をしました。作成する食器の種類・カラー・模様を選択し、店舗スタッフの補助のもと、食器を制作します。私達夫婦はグラスを選択しましたが、成人の肺活量で吹いてもなかなか膨らまなかったです。悪戦苦闘して制作したグラスが右の写真になります。群青色のグラスを私が、シアンのグラスを妻が作りました。